

平成30年度

第 1 回

**えりも町総合教育会議
議 事 録**

□と き 平成30年12月5日（水）

午後4時00分～午後5時10分

□ところ えりも町役場庁舎（2階応接室）

平成30年度第1回えりも町総合教育会議議事録

1 日 時	平成30年12月5日（水） 午後4時00分～午後5時10分
2 会 場	えりも町役場庁舎 2階応接室
3 出席者	<p>えりも町 えりも町長 大 西 正 紀</p> <p>えりも町教育委員会 教 育 長 川 上 松 美 教育長職務代理者 西 川 一 郎 委 員 田名部 光 一 委 員 嵯 峨 直 樹 委 員 川 崎 尚 子</p>
4 欠席委員	なし
5 説明員等	<p>えりも町総務課 課 長 福 沢 昌 幸</p> <p>えりも町教育委員会教育支援課 課 長 今 野 章 課長補佐 橋 本 信 夫 ※学校管理係長兼務</p>
6 会議経過	別紙のとおり

平成30年度第1回えりも町総合教育会議 会議の概要
(ホームページ掲載用)

- ・本年度の第1回目の総合教育会議では、議題の大きな柱について「庶野小学校における給食実施」「学校プールの設置」「福祉センター」「東洋小学校の今後」の4つとされました。
- ・大西町長からは、複合施設について様々な状況を踏まえ建設を断念したこと、プールや福祉センターについては、今後、教育委員会と検討していくという話がありました。
- ・川上教育長からは、町長の考えとして、できるだけ借金をせず後世に負担を残さない点を基本に、直すものは直すことが基本的方針であるとの話がありました。
- ・その後、事務局より議題ごとの検討課題を一括して提示し、議題ごとに協議が持たれました。
- ・1点目の「庶野小学校における給食実施」については、事務局より6パターンの実施方法が示されました。
- ・協議では、町長及び教育委員会より、時期は別としても、庶野の子どもたちだけ給食が無いことにはならないこと、お金をかけすぎることのないようにすべきこと、将来の児童数の推移を見ながら、よりよい方策を採っていくべきということ、既存施設の増築等も含めた利活用も図るべきということ、などの話がありました。同時に、現状のえりも小での調理は420食が限界である一方で、庶野小学校分を外部搬出するためのコンテナ室の拡張が必要という点について共通認識を持ちました。
- ・2点目の「学校プールの設置」については、教育長より、方法論ではなく建設が必要な状況になってきていること、学校側からも必要であるとの見解がだされていること、費用的にも慎重に考えていかなければならないこと、過去には自衛隊プールの利用を検討したが設備面で断念したこと、の話がありました
- ・教育委員からは、学校だけではなく健康増進の観点からも建設を希望すること、学校教育及び社会教育両面から考えていくべき、との話がありました。
- ・町長からは、現状で無いプールは、学校教育上どうしても必要ということであれば考えていかなければならないこと、子ども議会で上げられる「遊ぶ場所がない」という声に対しての対応にもなるのでは、との話がありました。
- ・3点目の「福祉センター」については、教育委員より、最低限何とかしなければならぬ部分が出てくれば、そこには手を付けていただきたいこと、一番不便だと思うのは2階への上がり方と思うこと、との話がありました。
- ・町長からは、今の形を変えることのない内部改修、特にトイレについては何とか改修したいとの話がありました
- ・4点目の「東洋小学校の今後」については、この間、教育委員会主催の地域懇談会における検討状況は町長も共有しており、町長からは、東洋小学校が現実として児童数減少により授業等にも支障が出てきているのであれば、統合もやむを得ないと思っていること、また、行政の考え方で進めるのではなく、地域の考えをとにかく重視するよう教育長に依頼している、との話がありました。

- 教育委員からは、2回の懇談会を経ても、過去における統廃合の経験を踏まえ、やはり地域の考えを重視すべき、との話がありました。
- その他としては、教育委員より、学校における無線LANが不完全で課題となっており、完全なる整備について要望が出されました。町長からは教室での活用は最低限検討する必要がある、との話がありました。
- 最後に、町長から、学力について、日高としては全道との比較でまだまだ数字的に低い状況ではあるものの、えりもは徐々に上がってきており、教育委員会や各学校にがんばっていただいていること、子どもたちのためのものは何とかできないか検討していきたいとの話があり、会議を終了しました。